

大総務第127号
令和7年3月5日

大阪市外郭団体評価委員会
委員長 堀野 桂子 様

大阪市総務局長 吉村 公秀
(担当：行政部総務課法人グループ)

諮問書

大阪市外郭団体等への関与及び監理事項等に関する条例施行要綱第16条第1項の規定に基づく公益財団法人大阪国際平和センターに係る中期目標の期間の終了時の検討を行うに当たって、同条第2項の規定に基づき同法人の所管所属長である大阪市教育委員会事務局教育次長から依頼があったので、同項の規定に基づき、別紙により諮問します。

中期目標期間終了時の検討

所管所属名	教育委員会事務局	団体名	(公財) 大阪国際平和センター
-------	----------	-----	-----------------

中期目標	(1)当該外郭団体の事業経営を通じて達成しようとする本市の行政目的又は施策の具体的な内容
	特定の歴史観や考え方に偏らず中立的（中立性の確保）に、事業を実施していくこととともに、「大阪中心」・「子ども目線」で「平和を自分自身の課題として考えられる」ような展示を行い、もって大阪市内に居住する小中学生をはじめとする多くの市民に戦争の悲惨さや平和の尊さを伝え、平和を願う豊かな心を育むこと。
	(2)中期目標期間
	令和2年4月1日から令和7年3月31日までの5年間
中期目標	(3)中期目標の期間終了時において、(1)の行政目的又は施策によって実現しようとしている状態
	中期目標期間、大阪市内に居住する小中学生をはじめとする多くの市民に、「大阪中心」・「子ども目線」で「平和を自分自身の課題として考えられる」ような展示を通して、戦争の悲惨さや平和の尊さを伝え、平和を願う豊かな心を育む機会が提供されている状態

中期目標達成状況	指標Ⅰ	大阪市立小学校全校に対する来館率					
		R2	R3	R4	R5	R6【最終】	
	目標値	18%	31%	55%	77%	85%	
	実績値	28.5%	45.5%	68.3%	87.9%	86.5%	
	指標Ⅱ	大阪市立中学校全校に対する来館率					
		R2	R3	R4	R5	R6【最終】	
	目標値	4%	15%	22%	24%	25%	
	実績値	10.8%	20.8%	22.8%	24.4%	24.8%	
	指標Ⅲ	平和学習到達度					
		R2	R3	R4	R5	R6【最終】	
	目標値	85%	85%	85%	85%	85%	
	実績値	88.9%	93.5%	92.9%	96.4%	95.2%	
	指標Ⅳ	来館者満足度					
		R2	R3	R4	R5	R6【最終】	
	目標値	75%	75%	75%	75%	75%	
	実績値	81.2%	92.7%	92.2%	90.2%	95.8%	

所管所属の自己評価	中期目標の達成状況【中期目標期間】	ア	ア：達成 イ：達成見込み（目標期間中） ウ：未達成
	中期目標期間における団体の事業経営による本市の行政目的又は施策の達成状況について		
	新型コロナウイルス感染症の流行という予想しがたい原因により、当初の中期計画の目標値を初年度から見直さざるを得ないこととなったものの、全ての指標の目標値を、全ての年度においてほぼ達成することができた。目標値の達成に向け、小中学校へのPRや、アンケートによりニーズを把握し対策をとるなどにより来館率のアップを図った。また証言者DVD作成や平和学習デジタルコンテンツ作成など様々な学習メニューの充実を図った。これらの取組により、大阪市内に居住する小中学生をはじめとする多くの市民に戦争の悲惨さや平和の尊さを伝え、平和を願う豊かな心を育む機会が提供されていると考える。		

外郭団体の指定の必要性	本市の行政目的又は施策の達成のために団体に求める役割に係る <u>社会の環境変化等</u> について				
	戦後80年を迎えようとする今日、戦後生まれの割合は9割近くにまで増加している。また、当該団体においても、戦争の記憶を伝えられる語り部事業等を終了している状況である。 このような状況において、戦争の記憶を風化させることなく、次の世代に戦争の悲惨さや平和の大切さを継承していくためには、当時の資料等を収集することや、それらを展示等によって伝えることが益々重要になっている。				
	中期目標期間終了後の本市の行政目的又は施策の達成のために <u>団体に求める役割</u> について（外郭団体指定の必要性について）				
	本市としては、今後とも大阪市内に居住する小中学生をはじめとする多くの市民に戦争の悲惨さや平和の尊さを伝え、平和を願う豊かな心を育む必要があると考えている。 当該団体は大阪を中心に、戦争や平和に関する多くの情報・資料の収集及び保存をしており、これらを活用した展示等の事業は大阪市民の平和学習に対して効果的なものである。また、当該団体の事業運営については、本市が有する影響力を通じて、公正性・中立性を確保しながら実施する必要がある。 よって、当該団体には、引き続き本市の教育行政と連携を図り、「大阪中心」・「子ども目線」で「平和を自分自身の課題として考えられる」ような展示や事業を行う役割を求める。				
	外郭団体の指定の必要性	A	A：継続して指定 B：指定解除	指定理由の変更の有無 【※「継続して指定」の場合のみ】	イ
講ずる措置の内容					
引き続き、次期中期目標に基づく、中期計画・年度計画の策定を行い、事業を実施することにより上記の役割を果たすことを求める。					